

平成 24 年 8 月 10 日

観光戦略課

電話：0742 - 34 - 4739

平成 23 年奈良市観光入込客数について

1 観光客数の概要

平成 23 年中に奈良市を訪れた観光客は、13,135 千人で前年の 18,415 千人に比べ、5,280 千人（28.67%）の減となりました。

2 種類別前年との比較

平成 23 年の観光客数は、一般観光客が 4,615 千人の減となり、また修学旅行・外国人旅行者もともに減少となりました。その結果、総数では 5,280 千人の減少となりました。

(単位：千人)

種別	H21 年観光 入込客数 (A)	H22 年観光 入込客数 (B)	H23 年観光 入込客数 (C)	増減(C)-(B)	増減 (C)-(A)
一般	12,777	16,760	12,145	4,615	632
修学旅行	782	1,026	816	210	34
外国人	407	629	174	455	233
合計	13,966	18,415	13,135	5,280	831

3 主な減少要因

(1) 平成 22 年に比した平成 23 年の観光客数の減少要因としては、平城遷都 1300 年祭の閉幕と平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災が考えられますが、観光庁が 6 月に発表した「宿泊旅行統計調査(平成 23 年 1 月～12 月)」の都道府県別延べ宿泊者数の前年比を見ると、京都府 2.9%増、大阪府 2.9%の減、兵庫県 1.7%の減といずれも 3%未満の増減となっているのに対し、奈良県は 32.8%の減となっていることから、被災地とならなかった近畿において、奈良県と他府県に差があるということは、平城遷都 1300 年記念事業の終了という要因が主要なものと考えられます。

- (2) 外国人観光客については、全国的に平成 2 2 年 8 6 1 万人から平成 2 3 年は 6 2 1 万人に減少しており、奈良への訪問者数が比較的多いアメリカ、フランス、スペイン、オーストラリアなどでは、訪日外国人数が平城遷都 1 3 0 0 年記念事業開催前の平成 2 1 年と比較しても、約 19% ~ 約 51% 減少しています。これは、東日本大震災及び原発事故の発生とそれに伴う風評被害とともに、円高も影響していると推測しています。また、外国人の入込客数の推計の参考としている外国人の訪問率の調査機関が平成 2 4 年 4 月以降、日本政府観光局 (JNTO) から観光庁に変わり、その一部変更に伴い奈良市への訪問地率も平成 2 2 年 7.3% から平成 2 3 年 2.8% に大幅に減少したことも、奈良市への外国人訪問客数の算定に影響がありました。
- (3) 修学旅行生については、少子化の流れの中、誘致活動の成果と、首都圏や東海地方などからの修学旅行先の振り替えも若干あり、宿泊者数は微増となりましたが、日帰り客数は、やはり平城遷都 1 3 0 0 年記念事業の終了に伴う減少と考えられ、宿泊を伴う修学旅行の誘致にさらに力を入れていく必要があると思われま